

ANOTHER MERCEDES WORLD

フェロモン系メルセデス

Sクラスのクーペ版でハイエンドなパーソナルクーペ、メルセデス・ベンツ S クラスクーペ。質沢が余裕がありまくるその姿からは、フェロモンが滲うほど。質実剛健イメージのメルセデスの中にあって、異色すぎる存在だ。

CALL>> イエローハット武蔵浦和店 [048]965-6631 www.yellowhat.jp/svc/StoreTop.do?storeCode=0564
センター [06]6746-2859 東日本コールセンター [043]688-7555
ワーク 西日本コールセンター [052]777-4511 www.work-wheels.co.jp

MERCEDES-BENZ S550 4MATIC COUPE EDITION 1



左サイドにはダグノーツ GR204の21インチをマウントする。このフッティングとのツラの感じでも車種対称。それがポイントでもある。

右サイドにはダグノーツ GR205の21インチをマウント。車高は上げは、左側ともコンポジットパワーフラッシュ (PFL) となっている。

■メルセデス・ベンツ S550 4 マチッククーペ エディション 1
ボディタイプ: クーペ 駆動方式: フルタイム 4WD (4MATIC) F: 21 × 9.5J+36 R: 21 × 10.5J+39
ホイール: コンポジットパワーフラッシュ 21インチ フリクション: コンポジットパワーフラッシュ
タイヤ: フリクションスーパーハイグリップ R200 R245/35R21 R285/30R21
スペアタイヤ: エアレス車高調整
ブレーキ: ステアリングアシスト プレンゼ F: 8ピストンキャリパー+410mm ローター、F:
8ピストンキャリパー+410mm ローター、R: 4ピストンキャリパー+310mm ローター

華があるのは 贅沢すぎる S クーペだから

無駄に贅沢で、そこがめっちゃカッコいいメルセデスのSクラスクーペに注目してみたい。こんなにデカイSクラスボディなのにドアが2枚しかない。クーペボディだからリアシートの居住性はあまりよくない。AMG じゃないのに、メルセデス・AMG GT みたいなスペシャルなモデルより車両価格が高いなどなど、実用的なこと言っちゃうとダメだしされる部分

多数なクルマなんだけど、でもそのぶん、東京のお金持ちが好きそうな質感の悪い、贅沢感がすごい。で、これをイジるとなると、ここでも王道。フットエリアの充実がポイントになる。コミコミ2000万円前後もするメルセデスにふさわしい内容が制作者に求められるし、オーナーがこだわったのはその価値観の部分だ。次のページでその内容を解説していこう。



ANOTHER MERCEDES WORLD
フェロモン系メルセデス
MERCEDES-AMG S550 AMANTH COUPE EDITION 1

ノーマルでも100km/hを超えたらライドハットが30mmほど下がりますが、このエディション1には、フロントブレーキのブローファンで、車速も走行時間も100km/h維持時と同じ高さにして、もちろん上向きエアフローも付く。

近頃のメルセデスの中でも、トップクラスに美しい8クーペ。ディフェンダーやサファリと違って、ハイパーのダクトなど、これ以上何を望むのか!



4.7Lのツインターボエンジンは最高出力が450psと最大トルクが71.0kgmを発生。これだけの出力を揮き出すエンジンだから、4WDの稼働は当然だ。



エディション1にはホステルレンズ下に、Sportのエンブレムが光る。

グーノス GR204の21インチホイールをセットして、車高を30mm下げたサイドビュー。超高級車の格好が際立つ。

前後に 8ピストンキャリパーと
410mm ローターを搭載する、
この精密感といたら!

とにかく走っている姿やサイドビューがビビれるくらいオシャレなメルセデス・ベンツS550 4マチッククーペ エディション1。Sクラスクーペというクルマは、余裕の4WD駆動だから、それに合った高級で賢質なフットエリアがモディファイのカギだ。

ホイールにはグーノス GR204とGR205の21インチを選択。車重が2トンもあって、アウトバーンを走ったら

250km/hまであっという間に到達しちゃうようなクルマにはグーノスが安心。ワーク製ならブレとかフレなど無縁だし、海外のホールなど比べると精度レベルが高すぎるから、履き比べたら乗り心地すらいい方向へ変化する、というのはプロショップなら絶対わかっての話(あまり話題にならないけど)。

タイヤはポテンザ RE050 を組み合わせる。ポイントは4WDであることから、前後の外径差を

ほぼ同じにするタイヤを選ぶこと(基準値の範囲内)。これに、コンピュータを書き換えて車高を低め(100km/h以上の高速走行時と停車時同じ高さの固定)、ノーマルよりサスペンションの部分で30mmほどのロードウンをゲットした。

最終仕上げは、ビッグブレーキの導入だ。4WDであることから、前後にプレンボの8ピストンキャリパー(通称エンツォ)をセットして、ローターも前後とも



グーノス GR204とプレンボ8ピストンキャリパー(410mm ローター)のコンビネーションは、メカが狂っている仕様が通る。



ノーマルでサイドブレーキキャリパーがあった部分には、ジュラルミンでサポートを作った8ピストンキャリパーをセット。またこの新しいブラケットをスタールで作ったサイドブレーキも付いて、よりダイナミックに稼働し、車高が下がっている仕様が通る。

LEDディライトのLEDのツブは、宝石のようにキラキラしている。このあたりを無難に賢くデザインし。

410mmを組み合わせたという具合。それだけじゃなく、リア側にもエンツォを入れたために、サイドブレーキキャリパーの位置を移動し、ブラケットを作ってレーシング側に変更! 前後のレーシング側エンジンが作ってしまおうという、大胆な夢とステップングパワーを手に入れた。そう、こんな賢気を作りだしてからこそ、このSクラス。シビレちゃうほどカッコイイんだ。

メルセデス・ベンツ
S550 クーペの動画
はここから!

スマホ/PhoneにQRコードを読み込ませて、foradpressの動画アカウントにアクセス! このページと同じ写真のS550 クーペの動画を選んで視聴ください。



WHEEL REVOLUTION

【ホイールが大きく進化する!】

Title:
精密感やメカニカル感を演出した
スペシャル・グノーシス

WORK GNOSIS GR204



東京オートサロンに展示されたメルセデス AMG S550 クーペ。21インチのGR204コンポジットハブフラッシュ21x8.5J/21x18.5Jをマウントする。



大阪オートメッセに展示されたBMW M2。20インチのGR205コンポジットハブフラッシュ20x8.5J/20x18.5Jをマウントする。

WORK GNOSIS GR205

Product:
WORK GNOSIS GR204
ワーク・グノーシスGR204



コンポジットハブフラッシュ



ブラッシュド



マットブラック



マットシルバー



パフフィニッシュ



ブラッシュド



マットブラック



マットシルバー



パフフィニッシュ

Product:
WORK GNOSIS GR205
ワーク・グノーシスGR205



コンポジットハブフラッシュ

グノーシスGR204 / GR205を履くべき理由

CALL>> ワーク 西日本コールセンター 0906746-2859 東日本コールセンター 0406688-7555
#日本コールセンター 052777-4512 <http://www.work-wheels.co.jp>

ワークのユーロプレミアムラインを変えるグノーシスシリーズは、鍛造と鋳造合わせて5ブランドが設定されているが、2017年シーズンに新たに設定されたモデルが、グノーシス GR シリーズの GR204 と GR205 の2種類だ。グノーシスはこれまでシンプルでクリーンな路線を歩んできたが、より鮮やかでより洗練されたよりステータスの高いステージに上るために登場させたのが、グノーシス GR シリーズであり、今年のラインナップには、マルチスポークメッシュの GR204、トラディショナルな5本ツインスポークの GR205

が追加された。

トラディショナルとは言っても、そこはイメージ革新を狙ったグノーシス GR シリーズだから、そのディテールのリファイン度はMAXレベル。かたてないほどメカニカルで、力強さと強靭さを宿したフェイスデザイン（そのメカニカルなイメージをはっきり見せてくれるのがP074〜で特装しているメルセデス AMG S550 4マチッククーペ）や、スポーク&ディスクの深いコングレブ形状、グノーシスではレアなギミックとなるピスホルトなど、見どころを多数備えている。ホイールサイズは19、20、21インチの

ステップリム、20、19、18インチのフルリバースリム。2ピースのキャスト構造。もちろんワークの他のホイールと同じように、カタログのスペック以外でも、特殊PCDやオーダーインセットなど、オプションを使えばいくらでも好きなアレンジにできるから、どんなスタンスも作れる。

またぜひチェックしたのが、ワークのウェブサイトのマッチングデータ。車種別にきっちりデータを出してくれているから、すぐ使える!